

こいぶみの前身「ひろしまる倶楽部」の表紙を飾ってくださったみなさんを、12年経過した今、再び訪れて「今」を話していただきました。



2008

地縁、知縁を大切に これからも顔の見える 農業経営を

北広島町都志見 森田 幸秀さん・いさ子さん

北広島町にある龍頭山の麓に、森田幸秀さん・いさ子さんのモリタ農園があります。現在、息子さんと6名のスタッフとともに、2月から7月には10棟のハウスで、トマト、ナス、キュウリなどの接ぎ木苗やキャベツなどのプラグ苗を生産、8月から翌1月には露地でのキャベツ栽培、また、その間に水稻5haのほか稲刈りの受託作業などを

行っています。

今から38年前、お二人は都志見に5aの農地を借り、農業をスタート。17年前

に法人化し、今では野菜苗や接ぎ木苗など約50万ポットを出荷するまでになりました。「現在のモリタ農園があるのは都志見に受け入れてもらったから」というお二人。人との出会いや縁、関係づくりを大切に、地域とともに歩んできました。

一昨年までタイなどアジアからの研修生や日本人研修生を毎年受け入れてきました。今でも元研修生とはSNSで近況を報告し合い、日々刺激を受けています。また、野菜苗の出荷先であるJA広島市や種苗会社に売れ行き状況の



2020

の世代に受け継がれようとしています。



▲生産者からの要望で、定植直後の乾燥や強風にも強く、病気にもかかりにくいスーパーセル苗(キャベツ)を作っている。

▲温度と湿度をコントロールできる接ぎ木活着促進養生室。接ぎ木の育苗には欠かせない。